

事務事業名	環境計画進行管理事業				会計	一般会計		事業種別	政策	開始	8	終了	26	
H27担当課等名	環境モデル都市推進課	H27係等名		H26係等名	地球温暖化対策係									
基本計画上の位置づけ	政策	5	人の営みと自然・環境が調和したまちづくり											
	施策	55	日常的な環境負荷低減活動の展開											
目的	対象(誰・何を)	環境プラン										指標名及び単位	26年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	プラン改定、および環境レポート策定について市民からの意見を反映する										対象指標	飯田市の人口(人)	102446
	向上させたい上位施策の成果指標	環境負荷低減活動(省エネ・節電・節水等)を継続的に実施している市民の割合												
目標	種別	指標名及び単位				26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)				
	成果指標	市民会議、環境審議会、地区担当者会、パブリックコメントなど参加人数(人)				20	17			H27から環境保全推進事業に統合				
	定性目標													
事業概要	平成24年度に改訂施行した「21いいだ環境プラン」の進行管理を行う。環境プランの改訂に合わせて、環境レポートの内容を見直し、進行管理をしていく。													
26年度事業内容	事業内容					名称			活動指標					
	1 環境審議会への進行状況の報告 2 環境レポートの作成と公表					1 報告会回数 2 公表数(件・回)			1 1回 2 1件・1回					
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足								
事業費計(千円)①		110	243	92	0	環境計画管理進行事業は平成27年度から環境保全推進事業に統合								
国庫支出金														
県支出金														
起債														
その他														
一般財源		110	243	92	0									
人件費計(千円)②		1,073		1,073										
正規職員所要時間		300		300										
臨時職員所要時間														
総事業費①+②		1,183	243	1,165	0									
事業内容・目標達成状況の振り返り	計画通り、環境レポートの作成と公表を行うことができた。													
改革改善の考え方	①問題点	前年度の環境レポートのとりまとめ時期が翌年度末になっている。市民に対し迅速に前年度の環境政策の取り組みを公表していく必要がある。												
	②改革提案	環境レポート作成に必要な各種データを迅速に収集し、下半期早々に公表できる体制とする。また、環境審議会への報告も必要とされているため、本事業を環境保全推進事業に統合して進行管理することとする。												